

索道事業安全報告書（2023年）

梶池ゴンドラリフト株式会社



梶池ゴンドラリフト

2022年8月1日～2023年7月31日

【梶池高原スキー場】

梶池ゴンドラリフト、梶池ロープウェイ、つが第1ペアリフト、つが第2ペアリフト
からまつ高速ペアリフト、しらかばクワッドリフト、ハンの木第1クワッドリフト
ハンの木第3クワッドリフト、ハンの木高速ペアリフト

索道事業安全報告書は、当社における索道輸送の安全確保のための取り組みや安全の実態をまとめたものです。本報告書をお読みいただき、ご意見・感想をお寄せください。

1. ご利用のお客様へ

当社の索道事業に対しまして、ご利用とご理解を賜り、誠に有難うございます。
当社は、経営理念の第一に「安全の確保」を掲げ、法令の遵守とともに、日々、安全輸送に努めております。皆様が当社に寄せる「信頼」の基本となる「安全」と「安心」であることを常に認識し、お客様に対応しております。鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取り組みや安全の実態・方法について、自ら振り返るとともに、ご利用していただくお客様に広くご理解いただくために索道安全報告書を公表いたします。皆さまからの声を輸送の安全に役立てる為に、積極的なご意見を頂戴できれば幸いです。

梅池ゴンドラリフト株式会社
梅池高原スキー場
代表取締役社長 岩本 竜二郎

2. 基本方針と安全目標

(1) 基本方針

当社の経営理念の第一は、安全の確保です。「安全基本方針」を次のように掲げております。

- ① 一致団結して輸送の安全確保に努める。
- ② 輸送の安全に関する法令及び規定をよく理解すると共にこれを遵守し、厳正忠実に職務を遂行する。
- ③ 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努める。
- ④ 職務の実施にあたり、推測に頼らず確認の遂行に努め、疑義のある時は、「安全は全てに優先する」として最も安全と思われる取り扱いに努める。
- ⑤ 事故・災害等が発生した時は、人命救助を最優先に行動し、速やかに安全適切な処置を行う。

(2) 安全目標

今年度、索道運転事故及び乗降場での事故発生件数は2件でした、今後も安全基本方針を基に安全・安心な索道運行に努めて参ります。

2022年8月～2023年7月 索道輸送安全目標は次のとおりです。

- (1) 索道事故発生件数をゼロ(0)を目標とする。
- (2) 係員の起因としての乗降場での事故発生件数ゼロ(0)を目標とする。

従業員教育、過去の索道事故事例、ヒヤリ・ハットの活用、学ぶことにより事故防止に努める。

3. 事故等の発生状況と運休状況

(1) 索道運転事故（索道人身障害事故）

本年度、国土交通省への報告は2件ありました。

(2) 災害（地震や暴風雨、豪雪など）

災害による運行停止はありません。

(3) インシデント（事故の兆候）

本年度、国土交通省への報告はありません。

(4) 行政指導等

本年度、国土交通省からの指導はありません。

4. 索道輸送の安全確保に関する当社の取組み

(1) 索道スタッフ教育

索道安全運行マニュアルを作成し新人研修および、シーズン開始時に安全運行に関する研修・救助訓練を実施しています。研修は経験者、未経験者に関係なく、スタッフ全員が研修を受けられるよう数回に分けて実施し、研修は安全運行マニュアルの修得及び救助訓練に加え、サービス研修や過去の事件事例をもとにした、トラブル対応などを含めた内容にて実施しています。また、シーズン中においても定期的なミーティングを行うとともに、トラブルやヒヤリ・ハット事例を常時収集・共有し対策を講じています。また、他スキー場も含めた事故・トラブル事例も速やかに共有し注意喚起と安全向上に努めています。



ゴンドラリフト 救助訓練

グループ会社の取り組み

日本スキー場開発(株)グループ会社では事故・トラブル、ヒヤリ・ハットについて、他事業者を含む事例の分析や対策、技術情報の共有を行い安全性の更なる向上に努めております。(2) 緊急時対応訓練

毎年、シーズン営業開始前に、各所従業員一同にて救助訓練を実施しています。また、予備原動装置を備えた索道ではこれを活用した訓練を実施いたしました。

5. 索道保安設備の維持管理・改修

安全のための投資と支出

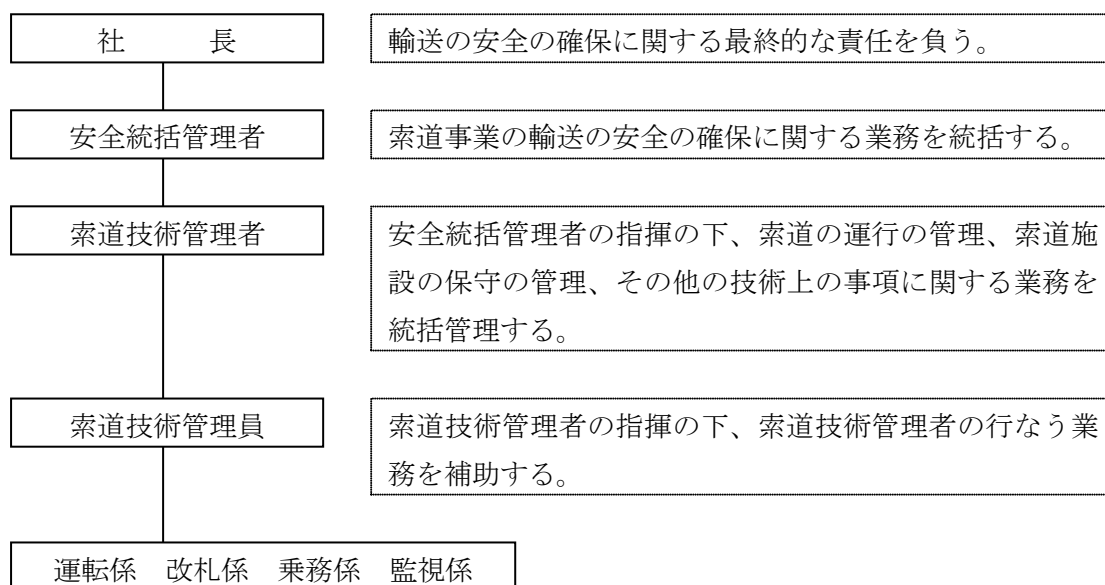
安全の維持向上のため、整備細則に基づき点検、整備及び検査を実施しました。

本年度は、ゴンドラリフト及び高速リフトの握索機等オーバーホール、線路部品の交換工事を実施しております。

6. 当社の安全管理体制

社長をトップとする安全管理組織を構築し、各責任者の責務を明確にしています。

また、危険予知を導入し、日々の業務に反映させております。



役員による場内巡回

当社役員が定期的に当スキー場を巡視し、スタッフとの意見交換を通じて安全管理状況を確認しています。上記の安全管理体制により、安全マネジメントの PDCA サイクル機能の検証、内部監査等を通じて定期的に確認し、その結果により適時改善を行っています。

7. 利用者の皆様の連携とお願い

(1) お客様の声をかたちにしています

場内にお客様の声を聞かせただけのよう、ホームページ内に「お問い合わせフォーム」を設置し、安全やサービスレベル向上の参考とさせて頂いております。ご来場の際にお気づきの点がございましたら何なり

とお知らせください。また、当スキー場ホームページでもお待ちしております。

(2) 注意事項とお願い

スキー、スノーボード、登山等は、もともと大自然を楽しむスポーツです。その中には事故につながる恐れのある要素が内在します。標示の有る無しにかかわらずスキー場のコース内外や登山道の状況を判断し、事故を起こさない事、また自然災害に巻き込まれる事のないよう十分注意してください。

また、林間コース等一部狭い箇所もありますので注意して滑走してください。

当スキー場では、事故を無くすよう常に努めておりますが、安全のために大切なのは何よりもまずお客様の注意深い行動であることを忘れないでください。

1. 吹雪、強風、雨、霧、雷などの天候にはご注意願います。
2. 急斜面、凸凹、地形に注意願います。
3. アイスバーン、雪崩など雪の状態に注意願います。
4. 岩石、立木、自然の障害物への衝突に注意願います。
5. リフト施設、建物、雪上車輛など人工の障害物に注意願います。
6. 他のスキーヤー・スノーボーダーとの接触に注意願います。
7. お客様に合ったコースを選び怪我には十分注意願います。
8. スキー場内では、パトロール、係員の指示や忠告に従ってください。
9. 当スキー場管理区域外での滑走は責任を負いかねます。
10. 当スキー場ではこの告知及びスキー場の行動規則の無視、軽視による事故には責任を負いかねます。
11. 他人に迷惑を与えるスキーヤー・スノーボーダーには退場していただく場合があります。

(3) リフト乗降時の注意事項

リフトご利用の際には係員の誘導に従い、落ち着いてご乗車下さい。乗車中は、深く腰掛け安全バーのご利用をお願い申し上げます。

8. ご連絡先

安全報告書へのご感想、当社の安全への取り組みに対するご意見をお寄せください。

〒399-9422

長野県北安曇郡小谷村大字千国乙 12840 番地 1

梅池ゴンドラリフト株式会社

TEL 0261-83-2255 FAX 0261-83-2002

E-mail tsugaike@nsd-hakuba.jp



柵池高原スキー場

柵池観光開発株式会社 索道安全報告書

2022年度版



この安全報告書は、当社における索道輸送の安全の確保のための取り組みや安全の実態をまとめたものです。
お読みいただき、ご意見・感想をお寄せください

1 利用者の皆様へ

当社の索道事業に対して、日頃のご利用とご理解誠にありがとうございます。
当社は、経営理念の第一に安全の確保を掲げ、法令の遵守とともに安全輸送に努めております。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取り組みや安全の実態について、広くご理解をいただくために公表するものです。

皆様からの声を輸送の安全に役立てたく、積極的なご意見をお待ちしております。

なお当社所有の索道施設は次の4本です。

柵池中央トリプルリフト

柵池第1ペアリフト

チャンピオンクワッドリフト

丸山第1クワッドリフト

柵池観光開発株式会社 代表取締役社長 栗田 優

2 基本方針と安全目標

(1) 基本方針

当社の経営理念の第一は安全の確保です。「安全基本方針」を次のように掲げ、社長以下従業員に周知・徹底しております。

- (1) 一致団結して輸送の安全確保に努めます。
- (2) 輸送の安全に関する法令および運転取扱細則、整備細則をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
- (3) 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めます。
- (4) 職務の実施にあたり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のあるときは最も安全と思われる取り扱いに努めます。
- (5) 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全かつ適切な処置をとります。
- (6) 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保します。
- (7) 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦します。

(2) 安全目標

2022年度の安全目標は次のとおりです。

区 分	項 目	内 容
定量的な 目 標	施設の不具合による事故 (脱索・搬器衝突等)	乗客の死者・重傷者を伴う事故 を 発生させない
	人身障害事故	事故を発生させない
	運転阻害事故	事故を発生させない
	労働災害事故	係員の死者・重傷者を伴う事故 を 発生させない

3 事故等の発生状況とその再発防止策

(1) 索道人身障害事故

2021年度において人身障害事故は発生しておりません。
社内では引き続き安全の確保について確認をいたしました。

(2) 災害（地震・暴風雪・なだれ等）

2021年度において災害による運行停止はありません。
なお、安全確保のため次のとおり運休いたしました。

- ・ 強風のため索道4本 延べ20時間運行を停止しました。
- ・ 雷雲の接近のための運休なし

安全確保のための運休についてはお客様のご理解とご協力をお願いいたします。

(3) インシデント（事故に至る恐れのある事態）

(4) 2021年度、インシデント等はありませんでした。

(5) 行政指導等

2021年度、国土交通省の保安監査がありました。業務改善命令・指導等はありませんでした。

4 輸送の安全確保のための取り組み

(1) 人材教育

当社では、輸送やお客様の安全に役立つよう、シーズン営業開始前に施設および取り扱いについての安全教育を実施しております。また万一の事故のために従業員全員に救助方法や補助原動機の取り扱いの指導を行いました。

(2) 緊急時対応訓練

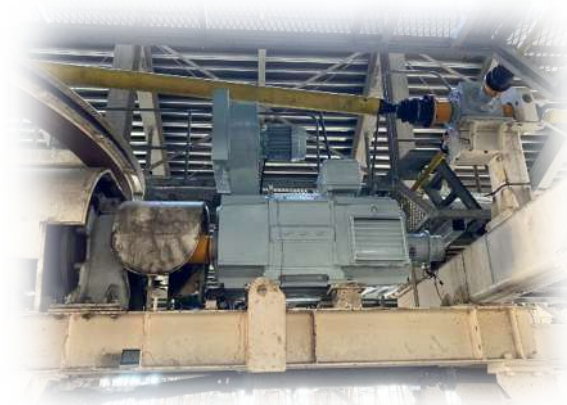
また2021年度は北アルプス広域消防と連携し、大北地区合同で救助訓練を実施いたしました。

(3) 安全のための投資と支出

安全の維持・向上のため、営業収入の10%をめどに施設の修繕費に充てています。

2022年度の主な整備は次のとおりです。

- | | |
|-------------|--|
| ・中央トリプル | 支柱駅舎内索輪選択交換
速度同調用Vベルト選択交換
セーフティーバー調整 |
| ・チャンピオンクワッド | 原動、緊張滑車ゴムライナー交換
索輪選択交換 |
| ・丸山第一クワッド | 速度同調用Vベルト選択交換
駅舎内索輪交換
電動機オーバーホール |
| ・柵池第1ペア | グリスアップ |

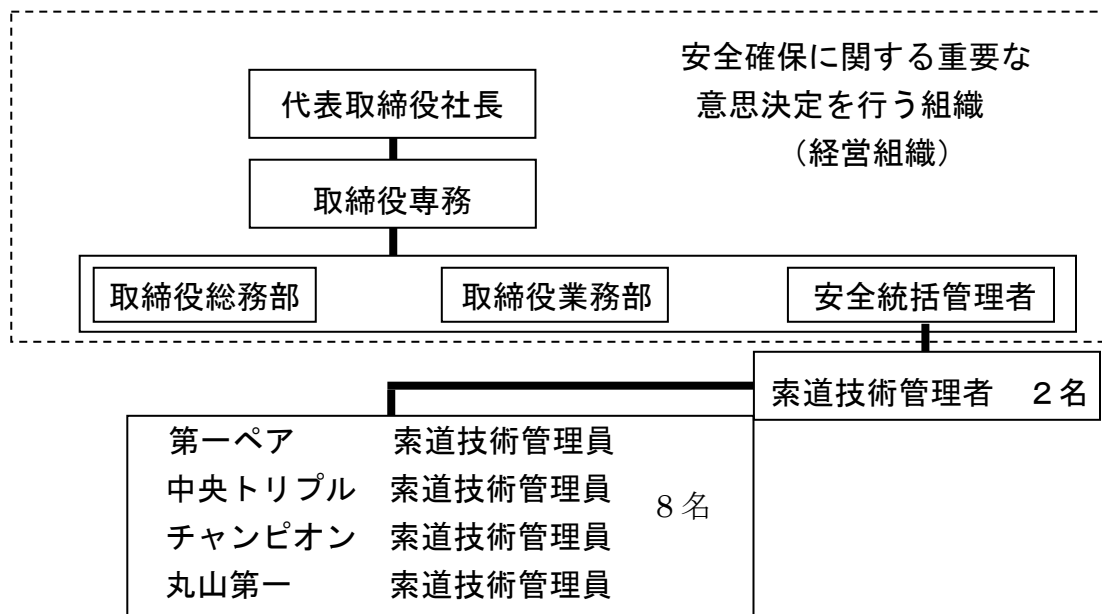


5 当社の安全管理体制

社長をトップとする安全管理体制を構築し、各責任者の責務を明確にしています。

また2005年度よりヒヤリ・ハット報告制度を導入し、社長以下全員が問題を共有し、認識して日々の業務にフィードバックさせています。

当社の組織図は次のとおりです。



安全統括管理者：索道事業の輸送の安全の確保に関する業務を統括する

索道技術管理者：索道全般の運行の管理、索道施設の保守管理その他係員の技術上および安全上の教育に関する業務を管理する

索道技術管理員：索道技術管理者の指揮の下、担当索道の運行を管理、索道施設の保守管理その他技術上の事項に関する業務を管理する



6 利用者の皆様の連携とお願い

(1) 当社は、お客様のご期待に応えられるよう努めております。

皆様から頂戴した貴重なご意見を真摯に受け止め信頼される索道を作るために役立てています。

お客様からの声をカタチにした事例をご紹介します。



丸山第一リフトでリフト待ちで並んでいると、屋根から雪が少し落ちてくるようで怖いな。。



屋根にあおりを付けてリフト待ちの場所には落ちないように改善いたしました。安心してご利用ください。

(2) 当社からお客様へのお願い

1. リフトの乗り方に慣れないお客様は、係員にその事を申し出てください。係りがお手伝いさせていただきます。
2. 柵池は中部山岳国立公園内にあります。空き缶・タバコその他携行品をリフトから投げ捨てないでください。生態系に悪影響を及ぼします。
3. 搬器から飛び降りたり搬器を揺らしたりすることは重大な事故につながり、ご自身はもとより他のお客様を危険にさらすことになります。
4. 衣服・携行品・髪の毛などが搬器に巻きつかないようにしてください。思わぬ結果になることがあります。
5. 安全輸送の確保のため係がお客様に指示することがありますが、なにとぞご理解ください。
- 6.

7 ご連絡先

安全報告書へのご感想、当社への取り組みに対するご意見をお待ちしております。専用入力フォームからメール送信をお願いいたします。

なお、安全報告書以外についてのご意見・ご感想などは下記連絡先へお願い致します。

柵池観光開発株式会社

TEL 0261-83-2034

FAX 0261-83-2076

株式会社 白馬館

索道安全報告書 (令和4年度版)

令和5年7月1日発行



利用者の皆様へ

当社の索道事業に対して、日頃のご利用とご理解、誠にありがとうございます。

当社は経営理念の第一に安全確保を掲げ、法令の遵守とともに安全輸送に努めております。

本報告書は、鉄道事業法に基づき輸送の安全の実態について自ら振り返るとともに広くご理解いただくために公表するものです。

株式会社 白馬館 代表取締役社長 松沢 貞一

1. 基本方針と安全目標

a. 基本方針

当社の経営理念の第一は安全確保です。

安全基本方針を次のように掲げ、社長以下従業員に周知・徹底しております。

1. 一致団結して輸送の安全の確保に努めます。
2. 輸送の安全に関する法令及び関連する規程（本規則含む。以下、「法令等」という。）をよく理解するとともに、これを遵守し厳正・忠実に職務を遂行します。
3. 常に輸送の安全に関する状況を理解するように努めます。
4. 職務の実施にあたり推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取扱いをします。
5. 事故・災害が発生した時は、人命救助を最優先に行動し速やかに安全適切な処置を取ります。
6. 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保します。
7. 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦します。

b. 安全目標

第 23 年次索道輸送安全目標（令和 3 年より令和 5 年）は次表のとおりです。今年度は事故及び人身障害はありません。引き続き目標達成に向けて取り組みます。

区 分	項 目	内 容
定期的な目標	設備不具合による事故	乗客の死亡を伴う事故を発生させない
	人身傷害事故	3 年間の発生件数を 0 件とする

2. 事故等の発生状況とその再発防止措置

- 索道運転事故（索道人身障害事故）

令和4年度、索道運転事故はありません。

- 災害（地震や暴風雨、豪雨など）

令和4年度、災害による運行停止はありません。なお、安全確保のため強風等の影響により運行停止した日がありました。

- インシデント（事故の予兆）

令和4年度、国土交通省へのインシデント報告はありません。

- 行政指導

令和4年度、行政指導はありません。

3. 輸送の安全のための取組み

- a. 人材教育

当社では、輸送や皆様の安全に役立つようシーズン営業開始前に施設及び取扱いについて安全教育を実施しています。

- b. 緊急時対応訓練

毎年、シーズン前に職員一同にて救助訓練を実施しています。



c. 安全のための投資と支出

令和4年度は安全維持・向上のため、スカイライナーⅡ・スカイライナーⅢ・ロマンスリフトにて修繕を行いました。

□ スカイライナーⅡ 索受け装置修正

□ スカイライナーⅢ 全握索機の分解整備

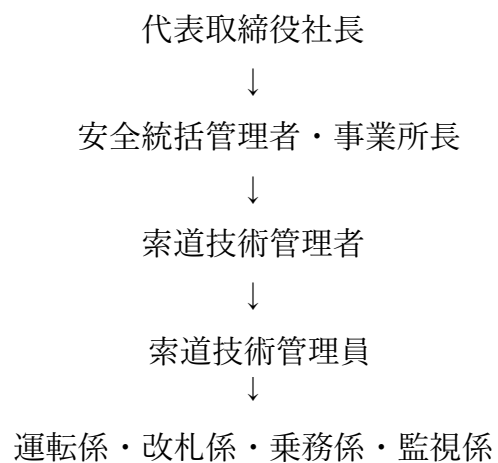
□ ロマンスリフト 山頂折り返し滑車メンテナンス

d. 整備

シーズンオフに細部にわたり点検整備を行っております。



- 社長をトップとする安全管理組織を構築し、各責任者の責務を明確にします。



スカイライナーⅡ ・スカイライナーⅢ
ロマンスリフト

役職	責 務
社長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う
安全統括管理者	索道事業の輸送の安全の確保に関する業務を統括する
索道技術管理者	安全統括管理者の指揮の下、索道全般の運行の管理、索道施設の保守の管理、
	その他の技術上及び係員教育等の事項に関する業務を管理する
索道技術管理員	索道技術管理者の指揮の下、担当する索道の運行を管理、施設の保守の管理、
	その他の技術上の事項に関する業務を管理する

5. 利用者の皆様へのお願い

•リフト乗車時の注意事項

1. 乗り方に慣れないお客様は係員にお申し出下さい
2. 空き缶・たばこの吸殻・その他物品をご乗車中のリフトから投げ捨てないで下さい
3. 搬器から飛び降りたり搬器を揺らさないで下さい
4. 衣服・携帯品・髪の毛などが施設に巻きつかないように注意して下さい
5. 改札後は係員の指示に従って下さい

6. ご連絡先

•〒399-9422

長野県北安曇郡小谷村千国乙12840-1

株式会社 白馬館

樽池事業所 お客様係

TEL.0261-83-2112 FAX.0261-83-2744